

20100215
[10-07]
総 155号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

「唐櫃越トレッキング」に 参加者 五〇〇人余

2月6日、西京区民ふれあい事業実行委員会主催の「唐櫃越トレッキング」が開催されました。「京都一周トレイル西山コース」と「西京ウォーキングマップ・大枝コース」が繋がり、その完成記念のイベントでした。午前9時頃から松尾学区の鈴虫寺バス停を随時出発した参加者は、整備された新コースと唐櫃越の山道を山歩きの楽しさを味わい、「野鳥遊園」奥の展望所で洛西地区の光景を遠望した後、下り坂を「観鳥楼」へ。その

後「古墳の森」に向かいゴールには全員、午後1時前に到着されました。親子連れも若い人たちも山道を主とするコースとあつて山歩きの出立ち。最も多かったのは高齢者のグループで、元気にこのトレッキングを楽しんでおられました。

桂坂消防分団 新春出初式

桂坂消防分団恒例の新春出初め式が1月10日、厳しい寒さのために、場所を桂坂小学校の体育館に移し開催されました。「整列完了」「服装点検」に団員の表彰、西京消防団長・西京消防署長の訓示などが行われました。昨年度は残念ながら、

当日は、桂坂学区もボランティアとしてこのイベントに参加しました。「鳥と遊ぶ道」の要所には「野鳥遊園」関係の皆さんが案内役として立ち誘導されました。

勤めたのですが、参加した人たちは、古墳についての丁寧な説明、親切な案内など至って好評だったようです。もちろん、住宅地のご真ん中に、このように「森」の姿を残しながら古墳群が存在することも意外だったでしょうし、群集する古墳を見るのが目的だったといわれる方が多かったのも確かです。そして、「これは貴重な文化遺産だからこの（古墳の森）の維持・管理についてはその対応を慎重に考えていく必要があるだろう」といったご意見も多かったです。

「古墳の森」とその周辺には、「保存会」設立準備会の関係者が案内役を勤めました

幸い日曜とあつて埋蔵文化財研究所の丸川・上村両氏と丸山元西洋環境開発の桂坂担当の三氏もかけつけてくださり、14号・15号・21号墳では説明役をお願いしました。案内パンフレット配り、「森」内の道案内などを

「桂坂献血会」を行います
献血にご協力をお願いいたします

日時 3月17日(木) 午後1時30分～3時30分
場所 「デイリーカーナートイズミヤ桂坂店」駐車場

- ◎ お持ちいただくもの
献血にご協力いただく際、献血カード又は献血手帳と一緒に、ご本人が確認できる「運転免許証」「保険証」「パスポート」等を必ずお持ちください。
- ◎ 献血基準等の確認
献血にご協力いただく場合、年齢・体重・献血回数、献血をご遠慮いただく方等、一定の「献血基準」があります。別途、献血会開催のピラの各戸配布、ポスターの掲示を行いますので、ご確認をいただき、ご協力をお願いいたします。
- ◎ 京都では1日250人の400mL献血が必要です！
毎日、輸血を必要とされる多くの患者さんがおられます。血液は人工的にはつくれず、また、長期間保存することもできません。輸血用血液は、皆様からいただく日々の血液で賄われています。お一人でも多くの方のご協力をお待ちしています。
- ◎ 検査結果のお知らせ
赤十字社では、献血者に対する感謝の気持ちと献血者の潜在的な疾患や疾病発見のため、一定の検査項目の検査成績を献血者にお知らせしていますが、1昨年から糖尿病チェックも加えられています。

桂坂献血会
(桂坂保健協議会)

「古墳の森」説明板の設置に寄せて
もつこの会 会長 近藤暢造

「古墳の森」とその周辺には、「保存会」設立準備会の関係者が案内役を勤めました。幸い日曜とあつて埋蔵文化財研究所の丸川・上村両氏と丸山元西洋環境開発の桂坂担当の三氏もかけつけてくださり、14号・15号・21号墳では説明役をお願いしました。案内パンフレット配り、「森」内の道案内などを

「古墳の森」説明板の設置に寄せて
もつこの会 会長 近藤暢造

この「会」の会長として喜びに堪えません。私ども「もつこの会」はご恩ある故田辺昭三先生の残された桂坂住宅地の古墳遺跡が皆様方のお力で住宅地に新しい歴史文化として末長く根付いていくことを希望するとともに、先生のご遺志に報いるため、このほど古墳群の案内板を設置させていただきました。

私たちが「もつこの会」は今後も、広く市民の皆様と共に「古墳の森」の維持・保存活動に参加させていただきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

「古墳の森」とその周辺には、「保存会」設立準備会の関係者が案内役を勤めました。幸い日曜とあつて埋蔵文化財研究所の丸川・上村両氏と丸山元西洋環境開発の桂坂担当の三氏もかけつけてくださり、14号・15号・21号墳では説明役をお願いしました。案内パンフレット配り、「森」内の道案内などを

「古墳の森」説明板の設置に寄せて
もつこの会 会長 近藤暢造

この「会」の会長として喜びに堪えません。私ども「もつこの会」はご恩ある故田辺昭三先生の残された桂坂住宅地の古墳遺跡が皆様方のお力で住宅地に新しい歴史文化として末長く根付いていくことを希望するとともに、先生のご遺志に報いるため、このほど古墳群の案内板を設置させていただきました。

私たちが「もつこの会」は今後も、広く市民の皆様と共に「古墳の森」の維持・保存活動に参加させていただきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

強い！くすのき

堂々 連覇

平成22年12月12日(日) 午前8時30分から桂坂小学校体育館において、第9回ソフトバレーボール大会が開催されました。

全ての自治会の参加とはなりませんでしたが、一二自治会の参加で熱戦が繰り広げられました。

試合は、A・Bのコートに分かれ、各チーム二試合の予選を行い、各コート1位のチームが決勝戦に、2位のチームが3位決定戦に進みました。

フルセットの試合あり、：：の試合あり、と各試合熱戦(？)が繰り広げられ、Aコートでは、「もくれん自治会」と「ひいらぎ自治会」が二勝で並び、両チームとも失セツ

トがなく、得失点差での微妙な勝負となりましたが、得失点差で上回った「もくれん自治会」が決勝戦に駒を進めました。

山の手俱樂部だより

今年の「仕事はじめ」も「朝の越えかけ運動」から

山の手俱樂部の新年は「朝の声掛け運動」で始まります。

今年も1月7日から一週間、桂坂小学校の校門で、登校してくる子供たちに「おはようございませす」と朝の声掛けをしました。これは、地域女性会やPTAの方々と一緒

だいた各自自治会の皆様に感謝いたします。来年は「打倒くすのき自治会」を目指し、頑張っていた

最後に、本年度の体育振興会行事も残り少なくなつてまいりましたが、引き続き各自自治会の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

3位決定戦は「ひいらぎ自治会」と「つばき自治会」が争い、「つばき自治会」が勝利し、みごと3位となりました。

決勝戦は、「もくれん自治会」と「くすのき自治会」の戦いとなり、逆転に続く逆転で、決勝戦にふさわしい白熱した好勝負となりましたが、最後は「くすのき自治会」

が昨年度の王者の意地を見せ、連覇を成し遂げられました。

優勝された「くすのき自治会」に敬意を表しますとともに、ご参加いただいた

つばき自治会優勝

第11回ファミリーバドミントン大会が1月16日(日)桂坂小学校体育館で

厳しい寒さと積雪の中で行われました。大会は、底冷えする館内で一三チーム、トーナメント方式での戦いとなりました。

各試合とも選手の熱気に満ちたプレーで溢れ、好プレーや珍プレーもあり

です。今年は2月19日(土)桂坂小学校で、山の手俱樂部、PTA、地域女性会の参加で、昔懐かしい、楽しい遊びを通して、子供たちとの交流を図るものです。

ゲームやテレビに親しんでいる子供たちにカルタや折り紙に独楽回しなどを教えて、子供たちには負けられないと張り切っています。

山の手俱樂部事務局

山の手俱樂部だより

音と語りのプロムナード

ふれあいファミリーコンサート

「社会を明るくする運動」の取組みの一つ第9回「ふれあいファミリーコンサート」が今年も下記の要領で開催されます。

出演されるのは、語りと歌の稲葉都さん、歌の小堤利枝さん、ピアノの田中幸江さん。日々いろいろな施設を訪問し、ボランティア活動で活躍されている方々です。今回の「語り」は『天の笛』。物語は「世界が雪で覆われた時、鷺も白鳥も全て運命と諦めたけれど雲雀は決心して飛び立ち世界に春をもたらす」という内容で、教科書にも採り上げられているそうです。

主催者の桂坂小学校・同PTA、桂坂支部保護司会・学区更生保護女性会の皆さんは、お越しいただいて、心温まる(語りと音楽)で、楽しい、心癒される一時をお過ごしいただければ、とっておられます。

どうぞ皆様、お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日時 平成23年2月26日(土) 午前10時~11時30分
場所 桂坂小学校 音楽室
内容 語りとピアノ 『天の笛』
一緒に歌いましょう ●涙そうそう ●ピリブ
●千の風になって ●いい日旅立ち
●世界がひとつになるまで
●崖の上のポニョ

主催 桂坂小学校・同PTA・桂坂保護司会・更生保護女性会

連載 大枝山古墳群

出土品あれこれ(4)

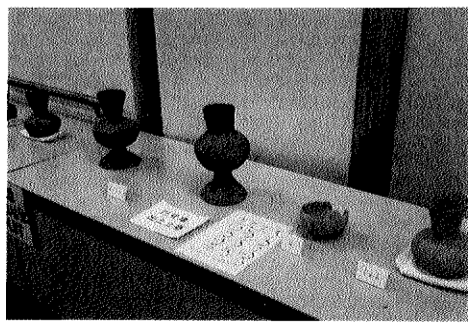
京都市埋蔵文化財研究所 丸川 義広

古墳から出土する遺物は被葬者への供献の品であるため、品目は必ずと限定されるものとなる。最も多く出土するのは須恵器という焼物である。当時の食器であり、主な器形としては、坏(蓋と身がセットをなす)、高坏(蓋付きと蓋無しがある)、甕類(脚付きと脚無しがある)がある。従来は、生前愛用した食器が納められたと考えてきたが、すべて完成品であることや数量に決まりがあることから古墳祭儀用品として一括納入されたこととみている。高坏は脚が長

くなり、列点文や波状文で飾り立てる。甕・甕も頸が延び、側面に同様の文様が施される。器台、あるいは脚付きの器形が増加する。これらは古墳祭儀用品として見栄えが良くなるように変化したものである。

副葬当時、土器の中には食物が入れられていたのであろうが、実際には何も残らない。希に貝殻などが遺存する例が知られるが、今回は出土しなかった。

鉄製品としては鉄鍬、鉄刀が出土しているが、少量である。馬具



は大型古墳に副葬されることが多いが、ここでは出土していない。装身具では、耳環が出土している。銅製のリングの表面に、金(銀)板を巻いたもので先端にしが残されている。二個セットで出土することは非常に希であった、今回も確実な例はなかった。

25号墳から出土した銀象嵌鉄刀はこの古墳群のものである。こちらは5世紀後半という年代からみて朝鮮半島からの渡来品とされる。当然、畿内政権からの分与品とみてよい。大枝山古墳群の象嵌鉄刀もその延長線上にあり、象嵌製品が二例近接して出土することは、大いに注目すべきことである。

春のコンサートへのお誘い

桂坂地域女性会 水谷 洋子

梅花の候、暦の上では春立つ日は過ぎましたが、寒い日が続いております。

女性会主催の「春のコンサート」のお誘いです。

今年は、桂坂小学校出身の小幡文香さんのピアノと大学の友人 樋口藍さんのフルートの演奏をしていただきます。

皆様お誘い合わせのうえ、多数のご来場を心よりお待ちしております。

日時 3月19日(土) 10:30~12:00
場所 桂坂小学校 ふれあいルーム
曲目 「愛の夢」第3番 F. リスト
「ノクターン」第2番 F. ショパン
「プエノスアイレスの冬」 A. ピアソラ 他
演奏 フルート 樋口 藍 [神戸女学院大学院在学中]
ピアノ 小幡文香 [神戸女学院音楽学部ピアノ専攻科卒]
主催 桂坂地域女性会